

## 基礎から本の購入まで

情報通信工学科 草間 裕介

### 基礎と応用

高専の専門科目で「応用」を勉強し、そこで挫折せずに新たな興味が沸いて次のステップに進むためには、「基礎」がとても大切であると思います。諸先輩先生方の誰もが口を揃えて言うことです。その基礎とは数学です。ある科学者が「基礎を勉強するならまずその基礎が使われている応用を知るべきだし、応用を勉強するならまずその基礎を勉強するべきだ」と言ったそうです。この言葉は科学者としての長年の経験が深く染み込んだ言葉であると思います。阪神大震災では新幹線の橋脚が何箇所か崩れました。後々この原因を調べてみると興味深いことがわかったそうです。それは崩れた橋脚の下は例外なく、昔は川が流れていたり沼地であったりしたそうです。それだけ地盤（基礎）が大切だということです。砂の上にくら立派な家を建ててもそのうち崩壊します。高専で勉強することの中にはこれと共通することがたくさんあると思います。

### 数学が苦手な人のために・・・

数学を基礎から勉強する必要があるなと感じたとき、大村平氏の「おはなしシリーズ」（日科技連出版社）を私はよく読み返します。高校から大学初級の数学と物理が中学生にわかるよう（決してレベルが低いわけではありません）に十分配慮してあると思います。これでは物足りないと感じたら宮腰忠氏の「高校数学+ $\alpha$ ：基礎と論理の物語」（共立出版社）も比較的評価が高いようです。私がこのような本を自分に合った良い本であると感じることができたのは、高校時代にあまり数学を勉強しなかったからだと思います。もし数学が得意であったなら、これらの本を手にとることはなかったかも知れません。手に取っていたとしても何も感じなかったかもしれません。だから数学が苦手と思っている学生のために紹介しました。

### 本の購入について

本探しの基本はやはり図書館です。詫間電波の図書館には先生方の推薦図書が集積されており、かなり充実しています。図書館を利用する上で最大の利点はお金がかからないということです。しかし、いくら気に入った本があっても必ず返さなくてはなりません。どうしても自分の所有にしたいと思うとき一番簡単なのはインターネットです。日本の本ならAmazon.co.jp、海外の本ならAmazon.comから簡単に購入することができます。日本の本は著作権の問題で中身を閲覧することはできないので、私が参考にするのはレビュアーの感想と★★★の数です。これだけでもかなり参考になりますが、個人の感想（読み手のその時点での知識レベルや心の状態、期待するもの等）に左右されるので★の数が多くてもハズレもあります。商品を実際に手にとって見ることができないインターネットの欠点です。高かったのにハズレを引いたときのショックは大きいです。こんなハズレをなくすもっと確かな方法は、日本で最大と言えるくらいの大きな本屋に行くことです。もし東京に行く機会があれば八重洲ブックセンターの品揃えがとても良いと思います（私の知る限り最大）。また、日本の古い本は手に入りにくいですが、理工学専門の古本なら神田の明倫館書店というところが有名です。入ると不思議な感覚に陥ります。一方、海外の本ならAmazon.comで大半の目次、索引、抜粋（2-3ページ）だけは見ることが許されています。海外に行く機会ほぼ無いのでレビュアーの感想と★の数だけが頼りです。ただしAmazon.co.jpよりも海外の方がレビュアーの感想がとても懇切丁寧で充実しているのが救いです。自分で専門書を購入しようと考えている学生のために書きました。